

This is my quest.

2013年、松本幸四郎氏が早稲田大学芸術文化功労者に選ばれたのを記念して「松本幸四郎展—This is my quest.」を開催します。幸四郎氏の活躍はきわめて多彩で多方面にわたりますが、本展覧会では大歌舞伎・ミュージカル・古典劇・現代劇・映像・趣味の世界・俳句の6点に集約し、その探究(quest)の遍歴をお見せします。



早稲田大学芸術功労者という素晴らしい表彰を受けることになり、身の引き締まる思いです。しかも我が尊敬する大先輩中村歌右衛門の小父に続いて歌舞伎界から2人目という事も感激の至りです。

3歳から歌舞伎の舞台に立ち、人生のほとんどを芝居に生きてきました。22歳で歌舞伎役者として初めてミュージカル『王様と私』を、27歳ではN Yブロードウェイで『ラマンチャの男』を日本人として初めて英語で、又48歳の時『王様と私』を同じく英語でロンドン、ウエストエンドで主演しました。シェイクスピアの四大悲劇をはじめ翻訳劇の『アマデウス』や創作現代劇にも挑んできました。歌舞伎では『勸進帳』の弁慶で47都道府県を巡演し、奈良東大寺の本堂で1000回の上演を果たしました。

「勸進帳」を1600回以上演じる傍ら、翻訳劇やオペレッタを演じた祖父(七代目幸四郎)、新劇やシェイクスピア劇を演じた父(八代目幸四郎)と、代々の幸四郎は「進取の精神」に富んでいるといわれてきました。私とその祖父、父から受け継いだ早稲田の抱負でもある「進取の精神」をはからずとも評価していただいたようで、九代目として幸四郎の名を受け継ぐ者にとって、この度の芸術功労者表彰は大変に光栄な事と思っております。

我が道を邁進してきて本当に良かったと感じることのできる幸せを、これからも仕事で皆様にお伝えしたい。そして、「進取の精神」を通しての早稲田との浅からぬ縁が、このような栄誉を授けてくださったのだと、心から我が母校早稲田大学を誇りに思い感謝する次第です。

松本幸四郎

【講師】松本幸四郎(歌舞伎俳優・芸術院会員) 【司会 聞き手】児玉竜一(演劇博物館副館長)

2014年7月18日[金] 14:00~ [開場 13 30]
早稲田大学大隈記念大講堂 [定員 1000名]

入場無料

当日先着順で 10時より大隈講堂前にて座席番号記載の入場整理券を1名様につき1枚配布いたします。整理券はなくなり次第終了とさせていただきます。また、座席指定はできません。あらかじめご了承ください。



早稲田大学芸術功労者顕彰式(2013年4月)



「ラマンチャの男」ブロードウェイ公演ポスター



「東海道四谷怪談」(1992年6月 歌舞伎座) 撮影 渡辺文雄 協力 松竹株式会社



「ハムレット」自画像



大隈講堂にて

表面写真 「ラマンチャの男」(2005年6月 帝国劇場) 協力 東宝株式会社 / 「菅原伝授手習鑑」(2010年4月 歌舞伎座) 撮影 渡辺文雄 協力 松竹株式会社 / 「勸進帳」(2007年10月 大隈講堂)



同時開催

『今日もコロッケ、明日もコロッケ』
—“益太郎冠者喜劇”の大正展
3月1日(土)~8月3日(日)
常設展示室「近代」コーナー

同時開催

『サミュエル・ペCKET展』
—ドアはわからないくらいに開いている』
4月22日(火)~8月3日(日)
演劇博物館2階 企画展示室

- ◆ JR 山手線・西武新宿線 高田馬場駅より 都営バス早大正門行 早大正門下車 徒歩約2分
- ◆ 地下鉄東京メトロ東西線 早稲田駅下車 徒歩約7分
- ◆ 都電荒川線 早稲田駅下車 徒歩約5分

〒169-8050 東京都新宿区西早稲田1-6-1 TEL. 03-5286-1829
URL. http://www.waseda.jp/enpaku/ MAIL. enpaku@list.waseda.jp